



2018年1月19日

各位

会社名 NISSHA 株式会社  
代表者名 代表取締役社長 兼 最高経営責任者 鈴木順也  
(コード番号 7915 東証第1部)  
問合せ先 取締役専務執行役員 兼 最高財務責任者 西原勇人  
(TEL. 075-811-8111)

## 通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

2017年5月12日に公表いたしました2017年12月期(2017年4月1日～2017年12月31日)の連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

2017年12月期通期連結業績予想数値の修正(2017年4月1日～2017年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 140,000	百万円 5,500	百万円 5,100	百万円 4,500	円 銭 96.48
今回修正予想(B)	159,000	6,400	7,700	7,100	147.30
増減額(B-A)	19,000	900	2,600	2,600	
増減率(%)	13.6	16.4	51.0	57.8	
(ご参考)前年同期実績 (2017年3月期第3四半期連結累 計期間業績)	81,839	△1,630	△2,272	△3,355	△77.58

(注)2017年12月期より決算期を3月31日から12月31日に変更し、当社グループの決算期を12月31日に統一しています。これに伴い、決算期変更の経過期間となる2017年12月期は2017年4月1日から2017年12月31日の9カ月決算となりますので、上記、連結業績予想には9カ月間の予想数値を記載しています。

そのため、参考として2017年3月期の9カ月間の実績である2017年3月期第3四半期連結累計期間業績(2016年4月1日～2016年12月31日)を記載します。

修正の理由

2017年12月期の業績につきましては、売上高はデバイス事業における製品需要が想定を上回ったことなどにより前回予想を上回る見通しです。営業利益はデバイス事業の製品需要の増加に伴う固定費が増加したものの増収効果により前回予想を上回る見通しです。これらの要因に加えて、為替差益の計上などにより経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益は前回予想を上回る見通しです。

以上